

ときめきの富士
湖畔の秋

秋 河口湖畔より



コスモスが

西にいるお日さまを追いかけて

同じ方向に顔を向けている。

暖かかった午後の大気は

徐々に温度が下がり

雲が帯となって富士山に棚引いている。

富士山が優しく微笑んでいる。

感謝無尽大
Rocky

ロッキー田中

富士山が教えてくれた幸運の法則 その20

物事は考え方ひとつ

いつもは東京と富士山麓を行ったり来たり、通勤も車だけど、日中は時々電車に乗る必要がある。

ところが駅では決まった光景を目にする。改札口を抜けてホームの階段を登る時、ズラッと並ぶエスカレーター待ちの列に出会う。

年齢は関係なし。スマホを持ってうつ向いた人がエスカレーターで運ばれて行く。見る度に貨物車の映像が重なる。

かと思えば階段を普通に、或いは颯爽と二段上がりで進んでいく人が、登っている私を抜いて行く。

おー、いいなあ。中々やるね。

かくいう私も昔は楽な道を選んでた。敢えて体を動かしてみても直ぐに息が切れた。駅のエスカレーターの列に混じって自分自身を思い出す事がある。

ツライ、面倒。さようなら。

「今は未来の姿」という言葉に出会ったのが、考え方を変えるきっかけになった。

何だかいい言葉だなあと、ポスト

カードやカレンダーの背表紙に書き始め、そこから派生と発展をしたメッセージが幾つも生まれた。

← 今、未来の姿

意識が創る。

今までは明日の為のリハーサル。

さあ今から。

美と真理は若さと共に息づく。

未来は今を待っている。

ある時点から考え方を変えた。もしかしたらツライとか面倒とか思うのは、人間だけの考え方じゃないか？



人間の体は大宇宙の凝縮。宇宙に意思はあるけれど、ツライは無い。人間は自然と共に生きている。自然に意思は有るけれど面倒臭いは無い。

雲は湧いて流れて形を変える。

富士山は雨の日も雪の日も晴れの日も堂々と存在している。生きとし生けるものにツライとか面倒臭いはない。

人間は科学を発展させた。それは見方を変えれば楽になる事。追求。これって自然のリズムの中に無い筈だ。人間だけがツライと面倒という感情を生み出した。

全ては目の前の事実が存在するのみ。それをどう受け止めるかで世界が変わる。

決めれば開く 動けば変わる

そして目の前に起きる事は全て感情を入れず、存在する事実として受け止める事にした。今は未来の姿。10年後も若々しく元気でいようと決めた。



毎朝、近くの八幡様まで歩いて600m。戻って来たらアパートの地下2階に行き、14階まで歩き始めた。途中で一度休み、

屈伸と斜め45度の腕立て伏せをし、最上階でもう一回。朝の楽しみ40分。

最初はキツかった。

ん？これはツライという感情に引きづられてる。だからツライと面倒にさよならした。目の前の事実を淡々と感謝して受け止める事にした。

面白い事が起きた。ツライという感情を抜いたら、楽しみになった。

一步登る度に体の声が届く。こえる様に変わって来た。続けて行く内に楽しみになった。出張などで出来ない朝は心残りが出来る。

でもエスカレーターを待つ人の批判はない。それは各々の生き方、考え方。10年後も元気でと心の中でエールを送る。

最近、書く事が多いメッセージ。

「心が世界を創る」

「全ては実現に満ちている」



ときめきの富士
写真家
ロッキー田中

ときめきの富士ロッキーアートサロン
<http://www.rocky-fuji.com>
<http://tokimeki-fuji.stores.jp>

現代に蘇った北斎と言われる(ときめきの富士)の写真家。生涯に99作、現在までに89作を発表した。幸運を呼ぶ富士山とされて、多くの人々と共に輝いている。全国に260店を展開するホテルの全ロビーに大きな作品が飾られている。検索はロッキー田中、または、ときめきの富士で。